空港グランドハンドリング作業の生産性向上に関する技術検討会

設置規約

（設置の目的）

第1条 生産年齢人口が低下傾向にある中においても、航空需要の拡大に対応していくには、空港業務への技術の実装による生産性向上が不可欠となっている。そのため、空港グランドハンドリング作業の技術開発・実装の進んでいない分野について、必要な技術の開発・実装に向けた検討を行うことを目的として、「空港グランドハンドリング作業の生産性向上に関する技術検討会」（以下「検討会」という。）を設置する。

（検討会の構成）

第2条 検討会は、会議の長（以下「座長」という。）及び別紙に掲げる委員、オブザーバーで構成する。ただし、第3条第1項に規定する座長は、必要があると認めるときは、委員の追加及び関係者の出席を求めることができる。

（座長の任命等）

第3条 検討会に委員から選任した座長を1名置く。

- 2 座長は、事務局から推薦し、委員の承認によってこれを定める。
- 3 座長は、検討会を統括する。

（本検討会の開催）

第4条 本検討会は、全委員の3分の2以上の出席をもって成立する。

- 2 本検討会は原則、非公開とする。
- 3 本検討会の議事要旨は、事務局が座長の確認を得た後、速やかに国土交通省ホームページにおいて公開する。

（事務局）

第5条 本検討会の事務局は、国土交通省航空局航空ネットワーク部空港技術課に置く。

（守秘義務）

第6条 委員及びオブザーバーは、本検討会を通じて知り得た秘密事項を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

（雑則）

第7条 この規約に定めるもののほか、本検討会の運営に関し必要な事項については、本検討会で定めるものとする。

附 則

この規約は、令和6年6月26日から施行する。

空港グランドハンドリング作業の生産性向上に関する技術検討会

委員名簿

学識経験者

加藤 一誠 慶應義塾大学 商学部 教授
花岡 伸也 東京工業大学 環境・社会理工学院 融合理工学系 教授
福田 大輔 東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤学専攻 教授
西藤 真一 桃山学院大学 経営学部 経営学科 教授

業界関係者

三浦 佐紀子 空港グランドハンドリング協会 執行理事
山口 忠克 全日本空輸株式会社 オペレーションサポートセンター空港サポート室長
園田 武史 日本航空株式会社 グランドハンドリング企画部長
日巻 博文 全国空港事業者協会 常務理事

オブザーバー

経済産業省 製造産業局 産業機械課 ロボット政策室